

大学の危機管理対策～基本と実務

2005年4月15日(金)

時間	講義項目
9:40 ～ 11:10	<p>危機管理と大学の安全 明治大学 中邨 章</p> <ol style="list-style-type: none"> 「危機管理」とはなにか (1)危機管理の定義 (2)危機管理と4識の重要性 - 危機管理の日常化 (3)危機管理と大学 危機対応の脆弱性 - 建築物 不特定多数の誘導 情報伝達と収集 震災から学ぶ (1)減災性 (2)リーダーシップ (3)初動態勢 (4)組織編成 危機管理行政のこれまでとこれから (1)不測事態と情報 (2)非難路の確保と災害準備 (3)危機管理のこれから 国からの援助は期待できない 救援物資 被災者同士の相互援助 ボランティアと今後の課題民間活力の導入と協働システムの開発 - ボランティアと自治会・町内会 大学の安全確保 (1)指揮管理の側面 (2)事故防止の施策 (3)事故防止訓練 教育訓練についての課題 慎重行動の省略防止策と罰則 安全文化の育成 民間手法の導入 現場指揮系統の充実 質疑応答
11:20 ～ 12:50	<p>大学の危機広報 ケースに学ぶ基本と留意点 ～ 広報担当者の心得 / マスメディアへの初動対応 / 二次風評対策～ 東京経済大学 田村 紀雄</p> <ol style="list-style-type: none"> 大学の危機と複雑化、多様化 大学広報の対応の困難化、高度化 新しい広報の理論、手法 マスメディアへの初動対応、日常的準備 広報部の人材、組織 質疑応答
昼 食	
13:50 ～ 15:20	<p>[神戸学院大]「災害は忘れたころに」そのとき我々は何ができるか ～ 阪神・淡路大震災の体験をもとに～ 神戸学院大学 宮本 善弘</p> <ol style="list-style-type: none"> 震災時の状況 いつ(頃・月・日・時間) 場所 被災状況 学事状況(入学試験・定期試験・卒業式) 学内での対応事例 1)初期対応(震災から3日間) (1)緊急災害対策本部設置 (2)二次的災害への防止 (3)教職員・学生などの安否状況 (4)建物・設備・試料・ライフラインなど被災状況 (5)交通・通信などのインフラやライフラインなど地域情報 (6)教職員・学生・受験生などへの対応と情報伝達 (7)同一法人内の学校間の連絡 (8)各種関係機関や報道などとの連絡窓口の設置 2)災害対策本部解散までの対応(約1ヵ月間) (1)入学試験の実施 (2)定期試験の実施 (3)緊急復旧工事 (4)下宿確保 (5)被災学生への学費減免・奨学金制度・留学生対応 (6)広報誌発行 その後の整備など (1)復旧作業と補助金申請 (2)規程・マニュアルなど作成 (3)平常時の訓練とモニタリング設置 10年を迎えての新たな活動 (1)震災10周年事業 (2)学生ボランティア活動と育成 (3)そのとき大学トップや教職員はなにができるか。 質疑応答
15:30 ～ 17:00	<p>[愛知大]中国現地プログラムにおける“SARS事件”時の対応事例 ～ いかに情勢判断し、どのような対処をなしたか～ 愛知大学 安部 悟</p> <ol style="list-style-type: none"> 中国現地プログラムの概要 現地プログラムにおける危機管理体制 “SARS事件”時の対応 そこで得られた教訓とその後 質疑応答